



『東北圏だより』



「東北観光博」を本格実施しました

東北運輸局企画観光部

東日本大震災により、大きく落ち込んだ東北地方の観光需要を回復するため、「東北観光博」が1月30日からプレオープンしたことを「東北圏だより」の第21号で紹介したところですが、3月18日から本格スタートしたのでお知らせいたします。

当日は、JR東京駅構内の特設ステージにおいて盛大にオープニングセレモニーが開催されました。セレモニーには国土交通大臣、観光庁長官、各県知事、経済団体及び観光団体代表者などが出席されました。また、特別ゲストとして落語家の桂三枝さんをお迎えし、「東北にいらっしゃーい」のかけ声でテープカットをし、開幕の宣言を行いました。その後、新幹線ホームにおいて東北に向かうツアー客を乗せた新幹線のお見送りをいたしました。

一方、受入側の東北6県でも、JR各駅において、到着した新幹線に乗車しているツアー客に対する歓迎式典が行われ、「東北観光博」の開幕を盛り上げたところです。

「東北観光博」は東北地方全体を博覧会場に見立て、観光の核となる東北地方の主要な観光地28カ所の「ゾーン」を巡っていただき、誘客を図るものです。

各ゾーンの玄関口となる主要駅などに「旅のサロン」を設置し、旅のコンシェルジュ「地域観光案内人」が皆様をお迎えし、要望にお応えいたします。

旅のサロンでは、「東北パスポート」の発行も行います。「東北パスポート」とは、各ゾーンの旅のサロンでスタンプを集めるとプレゼントがもらえたり、東北パスポート加盟店で提示すると店ごとのサービスを受けられるといった特典があるものです。

さらに、ゾーン内に点在する商店、レストランなどのスタッフが、その土地の自慢を皆様に伝える場として「旅の駅」を設置して皆様をお迎えいたします。ここに来ていただければ、地元ならではの情報を得ることができます。

その他、ポータルサイトを立ち上げ、東北観光博に関する最新情報を全国に発信していますので、是非、ご覧下さい（<http://www.visitjapan-tohoku.org/>）。

また、旅のサロンには東北の魅力あふれる情報を満載した公式ガイドブックを用意し、無料配布しています。公式ガイドブックには東北6県のおすすめイベントや見所が満載されています。

ただ今、春真っ盛り。サロンで東北パスポートの交付を受け、ガイドブックを片手に、地域観光案内人との出会いを求め、ゾーン巡りをしてはいかがでしょうか。

東北観光博は平成25年3月末まで開催されます。

東北観光博で東北に元気を！



▲オープニングセレモニーの様子



▲オープニングセレモニーの様子

東北ぜんぶが博覧会場だ。



地域循環圏東北協議会について 東北地方環境事務所

「第2回 地域循環圏東北協議会」が開催されました。

平成24年3月16日に仙台市のハーネル仙台において、第2回地域循環圏東北協議会が開催されました。

本協議会は、「地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させ、地域で循環が困難なものについては循環の環を広域化させていく」という地域循環圏の考えのもと、東北地域の循環圏構築に向け、環境省東北地方環境事務所の事業として開催されており、2回目となる今回は、東北地方環境事務所が実施した、各種調査やモデル事業の結果について報告がありました。

廃棄物や有価物、未利用資源の量や所在等についての調査結果や地域循環圏優良事例のほか、未利用間伐材の有効活用を目指してコスト構造の把握を主眼に大館市で実施したモデル事業の途中経過について報告がありました。出席した委員からは、データの活用方法や行政施策への展開のための方策について等、それぞれの見地から多くの意見が出されました。

広域地方計画に係わる動き

○東北圏広域地方計画の変更を行います

昨年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の広域巨大災害であり、行政機関はもとより民間企業などの様々な機関が災害対応を通じて得た多くの貴重な教訓と課題は、東北圏広域地方計画を始めとする地域づくりに生かしていかなければなりません。

このため東北圏広域地方計画協議会では、今年1月に第19回幹事会を開催し、東日本大震災を受けての現行計画の変更の必要性を確認。その後2月8日～24日にかけて実務担当者で構成するWGを開催し、計画に盛り込むべき課題整理、変更の基本的考え方、目次構成等の検討を行いました。この結果は第20回幹事会(3/14開催)、第5回検討会議(3/22開催)において協議し概ね了承されました。

【検証・点検結果により明らかとなった12の課題】



▲第5回検討会議

- ① 広域的な機能分担を踏まえた広域的な機能間連携の促進、協力体制の構築
- ② 多様な交通モード間の相互補完、広域交通ネットワークの代替性・多重性の確保
- ③ 災害時の通信環境の確保、バックアップも含めた情報通信のシステムの構築
- ④ 様々な災害リスクを軽減する総合的な地域づくり・まちづくりの推進
- ⑤ 防災訓練・教育の充実強化や災害の記録と伝承
- ⑥ 再生可能エネルギーの拡大とエネルギーの安定供給
- ⑦ 災害時における医療体制の強化や安心できる地域医療・福祉サービスの確保
- ⑧ 災害時にも強い供給網の構築と円滑な物流の確保
- ⑨ 水産資源をはじめとする様々な地域資源の回復と地域産業の経営強化
- ⑩ 地域のコミュニティ確保のための絆の構築
- ⑪ 復興に向けた新しい地域づくり
- ⑫ 原発事故がもたらした被害に対する多様な対策

今後は、検討会議において了承された12の課題を反映させた変更計画の素案作成に着手し、夏頃を目途に国土交通大臣決定を行うべく有識者懇談会、市町村意見聴取、関係省庁協議、パブリックコメント等を行う予定です。

人事異動

4月1日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせします。

(新副室長) 佐藤 一男(さとう かずお) 東北運輸局 青森運輸支局 八戸海事事務所長から

(前副室長) 穴戸 紳一郎(ししど しんいちろう) 東北運輸局 宮城運輸支局長へ

編集後記

4月というのにまだ寒さの残っている感がある今日この頃です。新年度が始まりました。推進室メンバーも大幅に入れ替わり、気持ちを入れ替えて取り組んでいきたいと思っております。当面の課題として、昨年度末に方向性が示された計画変更に係わる作業が重点事項です。構成機関の皆様のご協力を得ながら進めていきたいと思っておりますので今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp